競艇時代
エビス・ヨシカズ

一、二着選手
はすでに
第一ターンマークを
曲がろうとしてい
る時である
2
225
3
221

後方を走っていた
某選手の艇が
いきなりこちらへ
方向を変えたので
ある
5

そして
そのまま
鉄製の
ポールに
激突して
しまった

艇から投げ出された選手も運悪くヘルメットごと鉄柱に激突

鈍い音の後は汚れた水面に浮かんでしまった

救助艇がすぐ来て某選手を引き上げたが

すでに死んでいたようだ

しかし……

レースはそのまま続行された

要するに
彼は
犬死にである

暫くは
気分が悪かったが
死んだ人間が他人で
ある事から、それは
長続きしなかった

それよりも
自分の金を
増やす事に
考えは集中
する

おい、おい
そこの
だんな！
何、考え
込んじゃって
んだい

こんなものは
考えるレース
じゃないよ
あーあ
頭
抱えて
やがる

もう
朝から
取られて
狂っちゃってるよ
まったく　なア

頭は絶対
堅いから
勝負しなよ

まったく
自分の金に
関わりのない
他人の死なぞ
どうでもいい
事なのだ

自分の傍で
人が死のうが
笑おうが
自分とは
関係がない

しかし
もし、それが
突然、自分
に起ったら

当然
最後である
その時は
あきらめて
死ぬより他
あるまい

自分は
自分にそう
いう事が起こら
ない確率を信
じて生きて
いるのであるが

それが正しくない事は百も承知なのだ

ただ今から第10レースを行ないます
ブオーン
5
550

とに角今日は金を増やさなければならない

もう4日間も負け続きなのだ

今日は
どうしても
街で遊びたい

あの
狭まい部屋に
一人でいたく
ないのだ

晩飯を
パンで過ごし
たくないし

残った金を
数えながら
心細くなりたく
ないし

故郷を
思い出しながら
泣きたく
ないのだ

しかし
今日も
すでに残った
金は電車賃
だけ

このレースに
負けたら
もう
絶望なのだ

全艇
スタート
致しました

ワーッ

だめだ

あーあ
くそ!

もう明日からは真剣に仕事を探さなければならないな

実際自分は、競艇をしに東京に出て来たのではないのだ

映画俳優になろうと思ったのだ自分は！

ブオーン
なんだ こんな物 簡単じゃ ないか
俺だって 一着は 取れるさ

やる気のない 選手は俺の 変りに働きに 行けよ

俺には 根性が あるんだ

手懸りさえ つかめば俳優 だって
スタート 10秒前 !!
550

しかしこうなったら もう欲しいのは 金だな

全艇
スタート
致しました
4
550

見ろ
俺が一番
早いじゃ
ないか
4
550

このブイを
回れば
俺の勝ちだ

あっ
バン

う

臭い水だな
ペッ

ああ
ビリだ

随分離されたな

もう追いつくのは無理か

こう離されたんじゃ根性も何もあったものじゃないな
ビリでも日雇い以上の金は貰えるからのんびり走るか

観客の顔でも見ながら

おや

おかしいな

あ！

ああ！

みんな
狂ってる!!

ごつっ
ゲッ
ああ痛いな
頭から血がドクドク流れているが
救助艇はまだかな

523
120
ビーン
おや

レース続行中か

決定!
ああもう息が切れるな

一着3番!二着6番!

4番艇は追突死亡により失格!
END